

【別紙様式】

平成28年度 津山市立津山東中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	<p>これまでの取組やたしかめテスト等から</p> <p>【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み</p>	<p>算数・数学AB・・・根拠を明確にして説明をするような問題を苦手としている。</p> <p>国語AB・・・文章標記では、決められた分量にまとめることができない生徒の割合が高くなっている。</p>	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	<ul style="list-style-type: none"> ○「問題データベース」を活用し、問題プリントに自主的に取り組める環境をつくる。 ○「問題データベース」を活用し、繰り返し練習ができるよう、朝学習、放課後、授業中に位置づけて教科、学年で取り組む。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自主的に取り組める環境をつくることで、学習習慣を確立していく。 ○教科を中心に、計画的に授業などで取り組むことにより、学習内容の定着をはかる。
①	<p>全校統一テストを行い、基礎学力の定着を図る。わかる、できる経験を通して、やる気や自己肯定感をもてるようにする。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な問題に全員で取り組むことにより、やる気をもって学習に取り組むようにする。 ○反復練習をすることにより、できる問題を増やしていく。できる経験から自己肯定感を感じられるようにする。(65%以上)
②	<p>シラバスを十分に活用し、家庭学習について生徒への啓発を行うとともに、保護者へも協力を求めていく。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ○OPTAや小学校とも協力して、家庭学習を見直すプロジェクトを進める。調査に終わることなく、学年や学級の声かけも徹底して行う。 ○通信などを通じて家庭学習の重要性や家庭学習の仕方などを伝えることにより、家庭学習時間が確保できるようにする。
③	<p>学校生活や行事の中で感想を書いたり、授業の中で振り返りの機会を設けたりすることで「書く」習慣をつけていく。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループ活動の前の自力解決で「書く」時間を十分に確保しそれをもとに話し合い活動を行うようにする。 ○文章表記の問題で無回答率を減らす(10%以下)

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った(100%を超えている)」「A：目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」「B：目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」「C：目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」「D：目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」「E：目標を達成できなかった(30%未満)」